

平成17年4月20日

ユニチカ株式会社

新CM キャラクター、26年ぶりに女優の紺野美沙子さんを起用

(幻のキノコ「ハナビラタケ」を主成分とした
健康補助食品「白幻鳳凰(びやくげんほうおう)」)

当社は、幻のキノコ「ハナビラタケ」を主成分とした健康補助食品「白幻鳳凰(びやくげんほうおう)」の新CMキャラクターに、26年ぶりに女優の紺野美沙子さんを起用いたしましたのでお知らせします。

紺野美沙子さんは1979年、ユニチカ3代目マスコットガールとして芸能界デビュー。その知的な眼差しが注目を集め、同年には、東宝映画「黄金のパートナー」で主演の三浦友和さんの相手役として銀幕デビューを果たし、また翌80年には、NHK連続テレビ小説「虹を織る」でヒロイン役を演じて人気を博しました。

その後、テレビ・映画・舞台と活躍の場を広げる一方、1998年に国連開発計画(UNDP)親善大使の任命を受け、カンボジア、パレスチナ、ブータン、ガーナ、東ティモールを訪問し、国内での講演会等で現地の実情や国連活動の意義、重要性について広報活動を行うなど、活動の場は国際協力の分野にも広がっています。

また、著書も多く、処女作『M-misojiのひとりごと』はテレビドラマ化され、サイエンス・エッセイ『空飛ぶホタテ』では日本文芸大賞女流文学賞(1995年)を受賞するなどエッセイストとしての才能も高い評価を受けています。

プライベートでは1992年に結婚。1児の母として家庭と仕事を両立させながら活動を続け、妻として母として出産から幼稚園選びまでの日々を綴った育児体験エッセイ『「怪獣」のそだてかた』(1999年出版)には、子育てに格闘しながらも、楽しみ飾らない等身大の紺野さんの姿が生き生きと描かれています。

ユニチカマスコットガールとしての活動は、1979年から1981年までの3年間でした。この度、ユニチカハナビラタケのイメージキャラクターに起用することで、ユニチカのCMキャラクターとしての起用は26年ぶりとなります。

1. CMの概要

新作のCMは、紺野美沙子さんの凛とした美しい姿と、ユニチカハナビラタケがもつ希少性と美しい形をオーバーラップさせることで、ユニチカハナビラタケのブランドイメージ、認知を向上させることを狙ったものです。

衣装は「花びら染」を確立された中川善子さん(京都府在住)の作品(参考価格350万円)を着用し、茶室でのお作法の様式で表現しました。

放映は関東地区(4月28日から5月19日まで)からスタートし順次拡大する予定です。

・制作CMは15秒、30秒の2種

2. ユニチカマスコットガールについて

ユニチカが風吹ジュンさんを初代のユニチカマスコットガールとして、世に送り出したのは1973年のことでした。それはユニチカが最終商品を持たない素材メーカーであり、直接生活者との接点を持たないことから、ユニチカという企業と生活者を結ぶ存在として、「若く将来性のある」少女たちにその架け橋としての役割を託したのです。1999年からは、それまで並行して採用してきた水着キャンペーンモデルとマスコットガールを統合し、マスコットガール1名を採用する形になりましたが、現在まで14名のユニチカマスコットガールと30名の水着キャンペーンモデルを誕生させてきました。（別紙：参考3）そして、歴代のユニチカマスコットガールは、その時代その時代の生活者に「親しみやすさ」「若々しさ」「爽やかさ」といったユニチカのイメージを語りかけてきました。

3. ユニチカハナビラタケについて

ハナビラタケは、抗腫瘍性が高いといわれる-(1,3)グルカンを豊富に含み、その機能については大阪大学、岩手医科大学との共同研究で確認されています。また、アトピー症状を軽減するという免疫調整作用や血糖値抑制効果、高コレステロール改善効果も期待できます。

健康補助食品「白幻鳳凰」は、ユニチカハナビラタケの子実体乾燥粉末を原料としたものです。2003年4月に顆粒タイプを、昨年5月にカプセルタイプを発売し、同11月からは、微細粉末原料（物理的破碎方法により子実体乾燥粉末を約10μmに微細化）に切り替え、従来の約1.6倍のグルカン抽出効率を発現させると共に、より飲みやすい商品へと改良いたしました。

また、ユニチカハナビラタケは生鮮食材としても美味で独特の歯ごたえあり、大手ホテル・レストランでのご採用が順調に拡大しております。

ハナビラタケの特長

- ・学名Sparassis crispaヨーロッパではカリフラワー・マッシュルームと呼ばれている。
- ・白色～淡黄色のキノコで、直径20～40cmの葉ボタン状に成長する。
- ・-(1,3)グルカンを豊富に含んでおり、キノコ類の中でも突出している。
- ・サラダなどの食材としても、美味で独特な歯ごたえがある。

4. 「白幻鳳凰」商品概要

・顆粒タイプ

1スティック1.9g（ユニチカハナビラタケ成分1.5g）

30包入り 33,600円（税込）

90包入り 92,400円（税込）

・カプセルタイプ

1カプセル200mg（ユニチカハナビラタケ成分150mg）

100粒入り 1箱 12,600円（税込）

3箱 33,600円（税込）

9箱 92,400円（税込）

以上

ご参考1**CM制作スタッフ概要**

| | | | |
|-------|----|--------|------------|
| 出演 | 主演 | 紺野 美沙子 | 有)グリーンオフィス |
| ナレーター | | 堀江 一真 | 有)ビーボ |

| | | | |
|----------|-------|--------|---------------|
| 演出 撮影 | 監督 | 上沼 克也 | 演出上沼事務所 |
| | カメラ | 押切 隆世 | アドラン(株) |
| | チーフ | 宮澤 史昌 | |
| VE | VE | 山本 稔 | 有)グラン |
| 照明 | 照明 | 石川 博宣 | ハンス |
| | チーフ | 保木本 豊 | |
| 音声 | | 時田 和之 | 株)イマジカ |
| 音楽 | 作曲 | 村上 卓也 | 株)アーティストビューロー |
| CG | | 小林 武人 | 株)レヴォリューション |
| テロップ | デザイナー | 浜野谷 晶枝 | |
| 編集 | | 近津 晶子 | 株)イマジカ |
| 美術 | 制作 | 中野 淳 | 有)バサージュ |
| ヘアメイク | | 長網 志津子 | 有)スプリングボード |
| 衣裳 | 洋装 | 石田 純子 | 有)オフィスドゥーエ |
| | 着物 | 大久保 信子 | |
| 着物提供 | 染織家 | 中川 善子 | |

| | | | |
|-----|------|--------|----------|
| 撮影地 | お作法篇 | 小池 智彦 | 日本料理 水神苑 |
| 制作 | 制作 | 広瀬 彩 | 株)アマゾン |
| | 制作補 | 宮地 さやか | |

ご参考2

中川善子さんの「花びら染」について

従来、花びらでは染色はできないといわれてきましたが、着物デザイナーである夫との結婚をきっかけに「花びらで染物をつくりたい」という目標を掲げて35年、常識を覆す「花びら染」を成功させた中川善子さん。「花びら染」の第一人者です。

中川さんは1945年滋賀県で生まれ、京都市立芸術大学美術学部を卒業後、本草学(生薬学)を研究。しだいに染色に興味を持ち、70年に初めて花びらで染める方法を創案され、ついに完成させました。中川さんの技法は花びらを発酵させて色素を抽出するというもので大量の花びらが必要となります。

「花びら染」の原料となる花びらは、主にチューリップの花びらを使っているのですが、丹後の農家からチューリップの球根栽培のために不要となった花を京都府美山町の工房に送ってもらっているといいます。その花の入手については、ある時期に一度に1トン(1000kg)もの花が送られ、急いで花びらの仕分けをするそうです。花びらは生き物ですから遅れると発酵が始まり色が混ざったりしてしまうそうで、その時期は花との格闘です。

「花びら染」はカーネーション、薔薇、桜なども手がけ、今回、紺野さんが着用した訪問着は菜の花で染めたものです。一反をそめるのに20キログラム以上の花びらが必要で制作期間は1年。

参考上代価格 350万円

ご参考3

| 歴代水着キャンペーンモデル | 年度 | 歴代ユニチカマスコットガール |
|--------------------|------|----------------|
| マレーネ・ミッシェル / 大窪けい子 | 1970 | |
| マリア・ダ・グロリア・カルバリヨ | 1971 | |
| アンリッツ・ブロムスタッド | 1972 | |
| ベロニク・マルシェー | 1973 | |
| 風吹ジュン | 1974 | 風吹ジュン |
| フィリス・アイコ・グリア | 1975 | 手塚理美 |
| サビーネ金子 | 1976 | 手塚理美 |
| ブレンダ・ヘインズ | 1977 | 手塚理美 |
| 小島三恵子 | 1978 | 手塚理美 |
| 磯貝恵 | 1979 | 紺野美沙子 |
| ケレン吉川 | 1980 | 紺野美沙子 |
| 高橋亮子 / 水野ますみ | 1981 | 紺野美沙子 |
| 遠野友理 | 1982 | 遠野友理 |
| 遠野友理 | 1983 | 遠野友理 |
| セリア・キャロン | 1984 | 遠野友理 |
| モーリ・ブラウン | 1985 | 吉野真弓 (木内まさこ) |
| デビー・ジーン・デイリー | 1986 | 吉野真弓 (木内まさこ) |
| 川崎カイヤ (キャロリン・ハイガー) | 1987 | 吉野真弓 (木内まさこ) |
| 新免美和 | 1988 | 吉野真弓 (木内まさこ) |
| 森本蘭 | 1989 | 中村奈央子 (槇奈央子) |
| 松本洋子 | 1990 | 小野美香 |
| 夏川結衣 | 1991 | 小野美香 |
| 渡辺由紀 | 1992 | 希生ザイラー |
| 内田有紀 | 1993 | 希生ザイラー |
| 角田智美 | 1994 | 萩原実季 |
| 本上まなみ | 1995 | 萩原実季 |
| 米倉涼子 | 1996 | 萩原実季 |
| 春日井静奈 | 1997 | 鮎川なおみ |
| 北川弘美 | 1998 | 鮎川なおみ |
| 滝沢沙織 | 1999 | 鮎川なおみ |
| | 2000 | 小泉絵美子 |
| | 2001 | 井上美琴 |
| | 2002 | 大友みなみ |
| | 2003 | 大友みなみ |
| | 2004 | 村上恵梨 |
| | 2005 | 村上恵梨 |

2000年度より水着キャンペーンガールとユニチカマスコットガールを統合いたしました。



『背筋をのばしていただきたい、きのこが育ちました』



「ユニチカハナビラタケ
アガリクスの3～4倍のベータグルカン」



『3～4倍のうれしさです。』



「ユニチカハナビラタケ『白幻鳳凰』
ハナビラ100番」



